

(令和5年度補正) 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (都道府県分) 個票

自治体名 **熊本県** (都道府県: **熊本県**)
 本事業の担当部局名 **健康福祉部子ども・障がい福祉局子ども未来課**

事業メニュー	地域結婚支援重点推進事業				
区分	一般メニュー				
関連事業メニュー	1.1.5 その他、各地域において結婚を希望する者の希望の実現を支援するための取組				
個別事業名	「くまもとスタイル」結婚推進事業	新規/継続 (一般財源での実施も含む)	継続		
実施期間	交付決定日	~	令和7年3月31日	事業開始年度	平成 31 年度
自治体における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け (注)2	<p>(これまでの少子化対策の全体像及びその効果検証から浮かび上がった地域の実情及び課題) <u>全事業共通</u> 熊本県においては、「第2期熊本県まち・ひと・しごと創生総合戦略」の施策「子どもを安心して産み、育てられる環境整備」において、出会いから結婚・妊娠・出産・子育てまで切れ目ない支援の充実を図る施策を行っている。 具体的には、それぞれのライフステージに応じた切れ目ない支援に取り組む市町村を後押しするため、県単独の交付金事業を実施するとともに、県においては、平成29年(2017年)8月、知事が先頭に立って、職員や社員の仕事と生活の充実を応援する「よかボス宣言」を行い、県全体に「よかボス」を増やして、結婚や子育てがしやすい熊本県を目指すため、様々な機会を捉えて多くの企業等に働きかけを行い、「よかボス」の企業・団体の数は1,030社(R5.12月時点)、「よかボス企業」のある市町村数は42市町村/45市町村にまで広がりを見せている状況。 しかし、令和4年の県内婚姻数は6,349件、出生数は11,875人と、経年的に低下傾向にある。同傾向については、若い世代が結婚に対する経済的不安を抱えていること、理想的な結婚相手との出会いの場が少ないこと、将来のライフプラン等について考える情報が不足していること、子育てに対する負担感などが主な原因であると分析している。</p> <p>(当年度の少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け) <当年度の少子化対策の全体像> <u>全事業共通</u> 過年度に引き続き、行政・企業等の連携した取組によって、若い世代が結婚・子育てをしながら安心して仕事を続けられるくまもとのすがたを「くまもとスタイル」と称し、「よかボス」の取組を軸として、結婚や子育てを社会全体で応援するくまもとを目指す。 <本個別事業の位置付け> 若い世代の結婚に対する経済的不安及び理想的な結婚相手との出会いの場が少ないことに対応する取組として、企業(よかボス企業)、行政(市町村)、地域(まちのよかボス)が一体となって課題に取り組む「よかボス倶楽部」地域部会により実施するもの。</p> <p>(過年度の本個別事業で浮かび上がった課題の分析及びそれに対する取組(ステップアップ)) 令和4年度及び令和5年度において地域部会を2市町ずつ創設し、合計4部会となっているが、全県的な広がりには至っていない状況。 そのため、4部会を中心としてそれぞれの地域(県北・県南・県央・天草)において周辺市町村を巻き込む活動を行い、全県的な取組としていく。</p>				
個別事業の内容 (注)3	番号	項目	内容	ステップアップ	KPI設定
個別事業の内容 (注)3	1	「よかボス倶楽部」推進センター事業	・企業(よかボス企業)、行政(市町村)、地域(まちのよかボス)が一体となって課題に取り組む「よかボス倶楽部」地域部会(山鹿市、天草市、八代市、熊本市北区)を定期的実施し、 <u>自走化に向けて周辺市町村に参加の呼びかけを行い、広がりを持たせる。地域部会が自主的に開催する各種イベント(婚活イベントを含む)について、周辺市町村住民も対象としたイベントとする。</u> ・行政や企業以外の地域の意見を反映させた取組とするため、「まちのよかボス」の発掘を継続して行い、地域における結婚・子育て支援の担い手のさらなる増加、ひいては地域部会の活発化につなげる。 ・「KUMOMOTOよかボス倶楽部」SNSアカウント(LINE、Instagram等)を運用して、情報発信を行う。 ・市町村・よかボス企業等が自主的に主催する婚活イベントを県のホームページやSNSアカウントを利用して情報発信を行う。		
	2	「よかボス倶楽部」幹事会開催	・少子化対策に関する事業(本事業や結婚新生活支援事業等)の運営協議、進捗管理や事業評価のとりまとめを行う。 開催回数:2回(R6.9月~10月頃、R7.2月頃)、開催場所:熊本市内 参加者:よかボス倶楽部幹事及び事務局(35人程度)		
<p>[次年度以降に向けた事業の方向性] 4つの地域部会を中心に、取組を全県的に広げていく。将来的には、地域部会による自走化を目指す。</p> <p>[事業内容を検討する上で参考とした既存事業] 特になし。</p>					

少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 (注)4 全事業共通	KPI項目		単位	目標値	現状値	
	結婚支援に取り組む市町村数		市町村	45 (令和6年度)	35 (令和5年度)	
	「よかボス企業」登録数		団体	1080 (令和6年度)	1030 (R6.1.1時点)	
	市町村長の「よかボス宣言」者数		人	34 (令和6年度)	22 (R6.1.1時点)	
	「聞きなっせAIくまもと」友達登録者数		人	16000 (令和6年度)	13794 (R6.1.1時点)	
	「結婚応援の店」登録数		店舗	400 (令和6年度)	312 (R6.1.1時点)	
	「子育て応援の店」登録数		店舗	2700 (令和6年度)	2648 (R6.1.1時点)	
参考指標 (注)5 全事業共通	項目		単位	直近の実績		
	合計特殊出生率			1.52 (令和4年)		
	婚姻件数		件	6349 (令和4年)		
	婚姻率			3.7 (令和4年)		
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 (注)6	KPI項目		単位	目標値	現状値	
	事業内容 番号	項目				
		(アウトプット)				
	1	「よかボス倶楽部」地域部会参加市町村数		市町村	5	4 (R5年度)
	2	「よかボス倶楽部」地域部会参加者数(イベント参加者含む)		人	500	362 (R5年度)
	3	まちのよかボス登録数		人	150	135 (R5年度)
	4	LINE公式アカウント登録者数		人		
	(アウトカム)					
	1	「これまで以上に地域における結婚(子育て)支援に取り組みたい」と回答した者の割合		%	85	44 (R5年度)
	2	「よかボス宣言」をしてから会社が良くなったと思うボスの割合		%	70	60 (R5年度)
	3	「よかボス宣言」をしてから会社が良くなったと思う社員の割合		%	75	62 (R5年度)
他自治体との連携・役割分担の考え方及び具体的方法 (注)7	市町村は、「よかボス倶楽部」会員であるため、事業運営検討から評価までを一緒に行う。また、市町村が行う婚活イベント等の結婚支援については、県が情報周知の支援を行う。					
民間事業者との連携・役割分担の考え方及び具体的方法 (注)8	「よかボス企業」は、「よかボス倶楽部」の一員であるため、事業運営検討から評価までを一緒に行う。					